

97周年から99周年の3年間で、  
安田学園の100年の歴史を  
振り返っていきます。  
今回はその第1回目です。

# 安田学園の歴史(1回目/3回)

2020年11月9日

安田学園の創立記念日が11月9日であるのは、善次郎翁の意を継ぎ学園の発展に尽力した善次郎翁の四男安田善雄氏の誕生日にあっていたからです。

創立前～始めの10年 (1916～1933年)

11年目から20年 (1934～1943年)

21年目～25年 (1944～1948年)

大正

昭和

1921年9月28日  
安田善次郎翁  
大磯の別邸にて逝去

1923年9月1日  
関東大震災

1916年4月  
東京植民貿易語学校  
開校 (以後「植賢」)

1923年3月20日  
植賢内に  
安田学園の前身である  
東京保善商業学校が誕生  
(神田錦町)

1923年10月1日  
上野輪王寺の敷地で  
授業再開

1924年4月  
横網校舎 (現在地)  
で授業開始

1925年3月  
東京保善工業学校誕生

1925年11月9日  
三校合同の  
(植賢・商業・工業)  
初の開校記念日

1927年3月  
三校合同の  
学友会 (現在の生徒会)  
雑誌「常棣」創刊

常棣の名は、当時の浜野校長が  
詩経の古語からとって命名しました。

1927年7月  
安田庭園  
復興・開園

1930年1月  
両国駅舎完成

1930年9月1日  
横網町公園完成

1930年1月20日  
三校連合歌  
(現在の校歌) を  
制作

1931年6月17日  
小岩にグラウンド  
が完成 (戦中まで)

1931年7月  
千葉県竹岡に  
臨海寮が完成

1932年11月9日  
1986年まで使用した  
校舎と講堂が完成

修学旅行は1925年に初めて実施されました。

関西方面に5泊6日でした。



昭和初期の両国駅

1935年1月8日  
植賢が西大久保に  
分離・移転

1936年3月17日  
校名を安田商業学校  
安田工業学校と改名

第二本科 (商業夜間部)  
が植賢のある西大久保に  
分離・移転  
(現在の保善高校)

1936年4月  
帽章と制服のボタンを  
梅花をかたどった  
デザインとする



1932年完成の本館



常棣創刊号

1941年12月8日  
大東亜戦争勃発  
  
午前11時15分  
全生徒が校庭で  
宣戦の詔勅を聴く

1941年4月  
制服・制帽が  
国民服・戦闘帽になる

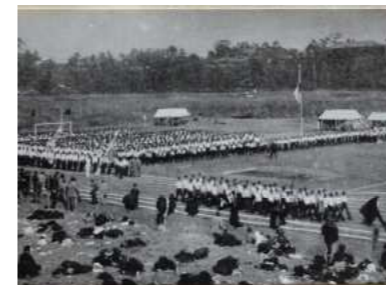
1943年4月1日  
戦時非常措置として  
商業学校募集停止

1941年6月14日  
深川に機械工場および  
分教場が完成

1942年の修学旅行は、  
奥日光に1泊でした。

1942年5月  
常棣29号発刊  
以後休刊となる

1942年6月15日  
学友会を改編し  
報国隊組織となる



小岩グラウンドでの運動会



横川小学校講堂

1945年3月10日  
東京大空襲  
  
生徒にもかなりの死傷者が出たが、  
詳細は不明  
  
横網校舎は被災しなかったが  
深川の機械実習工場は焼失

1945年3月28日  
4年生も繰り上げて  
5年生とともに卒業

1944年4月1日  
商業学校は4.5年以外  
工業学校に転換

1944年4月1日  
工業学校に  
電気通信科・航空機科  
を新設



占領中の両国駅周辺

(手前の丸い屋根は旧両国国技館)

1945年8月15日  
太平洋戦争終結  
敗戦

1945年9月20日  
授業再開

1945年10月8日  
進駐軍より校舎接収の  
申し渡し  
10月  
柳島国民学校に引っ越し  
1946年11月  
横川小学校に引っ越し

1948年4月1日  
安田学園中学校  
安田学園高等学校と改名

10月23日  
中高一体の学友会発足

11月9日  
新しい学園歌の歌詞が  
発表される  
「東雲淡く〜♪」